

**凡例**

- ① 避難場所
- ヘリコプター発着予定地
- 交番・駐在所
- 字界

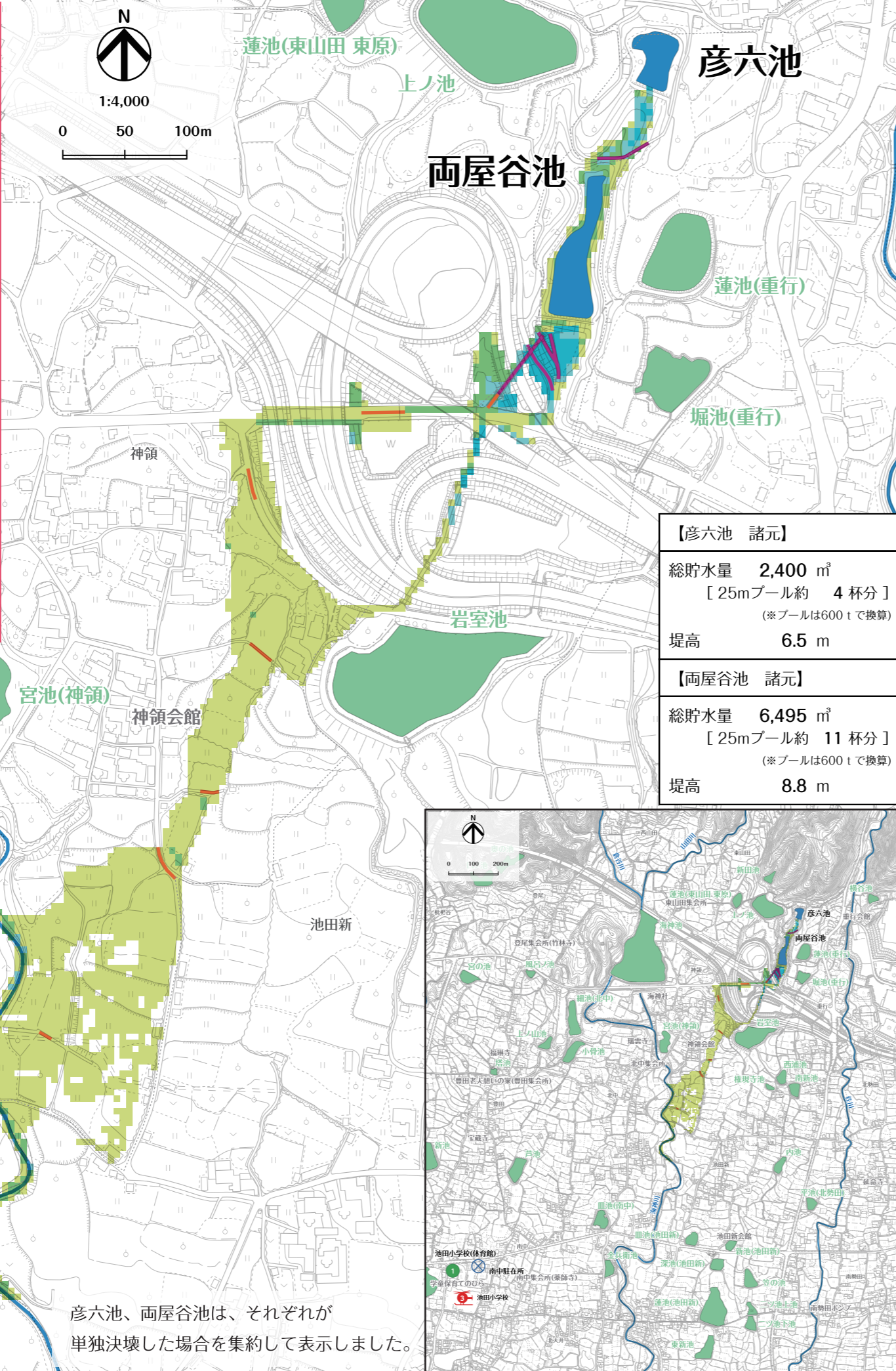
**避難時の安全性**

- 避難不可能
- 避難困難

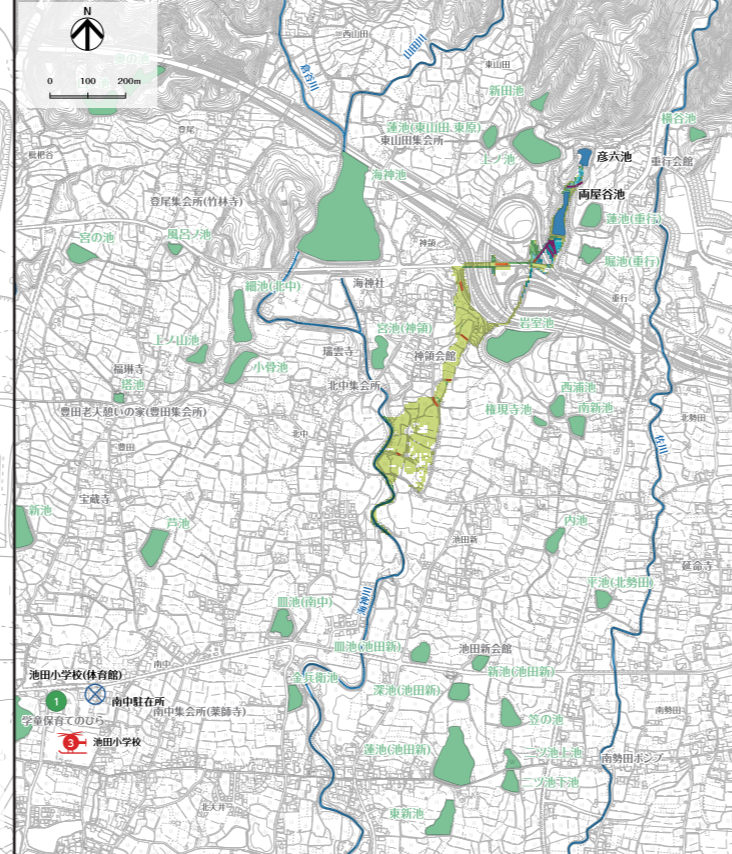
**浸水深**

2階の軒下までつかかる程度 5.0m▼  
 1階の軒下までつかかる程度 2.0m▼  
 大人の腰までつかかる程度 1.0m▼  
 大人の膝までつかかる程度 0.5m▼

5.0m以上  
 2.0m～5.0m未満  
 1.0m～2.0m未満  
 0.5m～1.0m未満  
 0.5m未満  
 対象河川範囲



<b>【彦六池 諸元】</b>	
総貯水量	2,400 m <sup>3</sup> [25mプール約 4 杯分] (※プールは600tで換算)
堤高	6.5 m
<b>【両屋谷池 諸元】</b>	
総貯水量	6,495 m <sup>3</sup> [25mプール約 11 杯分] (※プールは600tで換算)
堤高	8.8 m

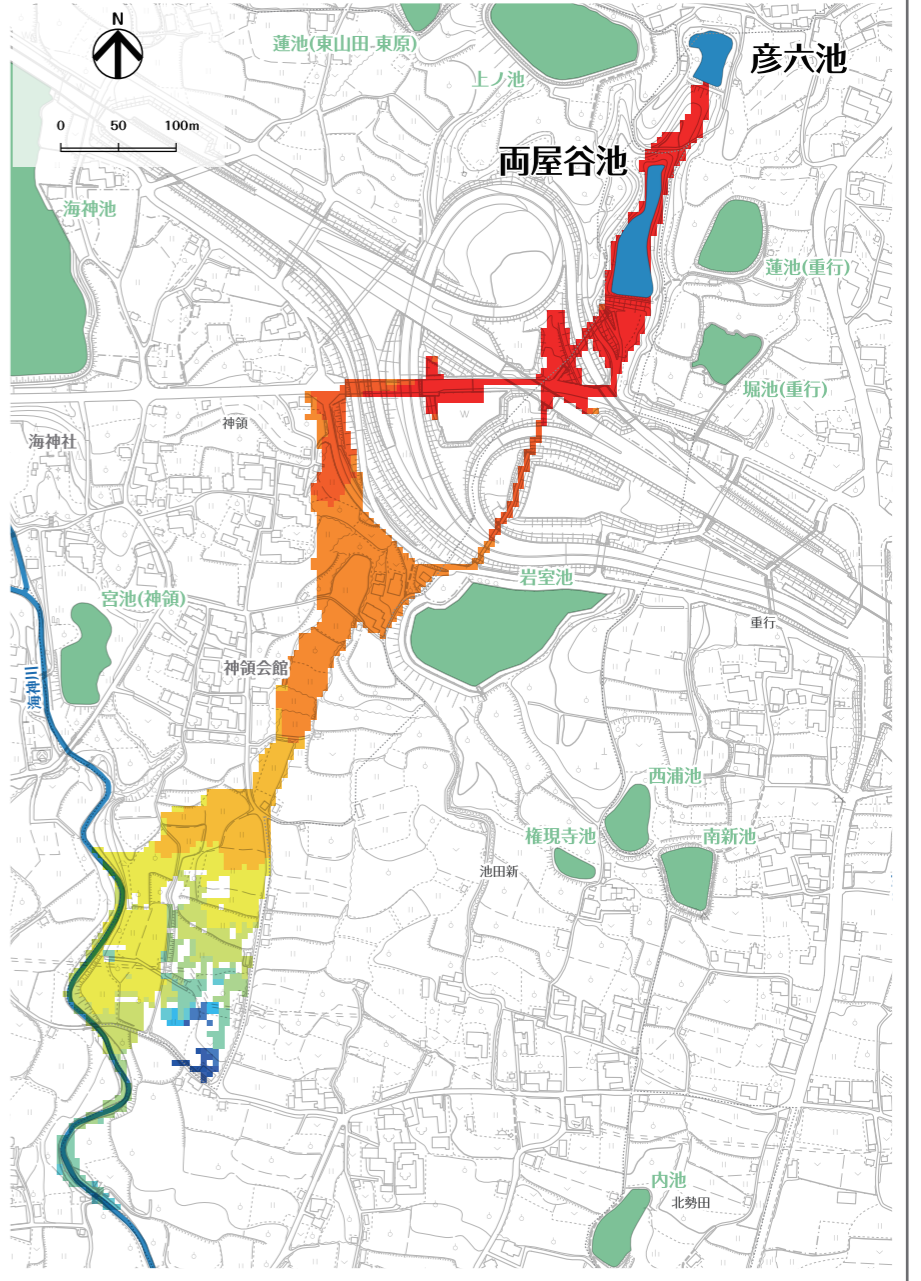


彦六池、両屋谷池は、それぞれが単独決壊した場合を集約して表示しました。

# 彦六池、両屋谷池ハザードマップ

## はん濫水の到達時間

はん濫シミュレーション結果における、はん濫水の到達時間を表現しました。特に、避難が必要な地区にお住まいの方は、ため池が決壊する前に早めの避難を行う必要があります。



**【はん濫水の到達時間】**

- 0～3分
- 3～5分
- 5～10分
- 10～15分
- 15～20分
- 20～25分
- 25～30分
- 30～35分
- 35～40分
- 40～45分
- 45～50分
- 50～55分
- 55～60分

## わが家の避難経路

防災マップを持って、家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。  
 実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探し、あなたの経路図を右の地図に書き込んでみましょう。

